

令和2年5月11日

未来への扉6

校長 平野 雅仁

今、皆さんの通う中央区立日本橋中学校がある場所は、元は、どの学校だったのでしょうか？

A. 中央区立第四中学校 B. 中央区立久松中学校 C. 東京市千代田尋常小学校

実は、A. B. C. すべて正解です。

次の写真の学校は、関東大震災後〈昭和4年・1924年〉に再建された、C. 東京市千代田尋常小学校です。（昭和18年・1943年 東京市が東京都になり、昭和22年・1947年 東京都の区政で、日本橋区と京橋区が合併して中央区となりました。）



鉄筋コンクリートで、アールデコ調の小学校校舎は、3階建てで、屋上があり、さらに展望台がありました。当時としては、高層かつ優雅な建築でした。写真・右上は、小学校の正面に浜口雄幸首相、堀切東京市長が天皇陛下〈昭和天皇〉をお出迎えしている写真です。



千代田公園に「臨幸記念碑」があります

碑には、「大正12年・1923年9月1日に起こった関東大震災に伴う火災により、未だかつてない災いを蒙った帝都東京も、更正の努力7年にして、復興という重大な事業を完成しました。昭和5年・1930年3月24日に、天皇陛下が復興した帝都をご巡幸され、…この日、3階の御座所にてご休憩遊ばれ、…校庭側が隅田川に面しているため、足下の両国橋をはじめ、川の上下流の橋々、江東区一带から浅草、下谷方面まで望まれ、川に背を向ければ、神田、日本橋、丸の内まで見渡せました。行列は、正午8分過ぎに千代田小学校に到着し、帝都東京の復興をご覧になり、午後1時半に出発されました…」と記録にあります。

なぜ、公園に鳳凰の像があり、学校の前の道路が、御幸（みゆき）通りと呼ばれている由来もこれでわかります。

千代田小学校は明治10年・1877年に創立され、昭和20年・1945年に廃校となりました。昭和22年・1947年に中央区立十思小学校において開校した中央区立久松中学校が昭和24年・1949年にここに移転してきました。

その後の現中央区立日本橋中学校までの歴史は、皆さんのお父さんやお母さんの方が、私より詳しいと思いますので、ぜひ聞いてみてください。

なぜなら、同窓会長の倉谷通孝さん（1期生）、現PTA会長の中多宏之さん（8期生）は、中央区立第四中学校の卒業生です。たくさんの卒業生、同窓生、地域の皆様によって支えられています。

皆さんもこの伝統と歴史のある中央区立日本橋中学校の在校生であり、卒業生になっていきます。今年度の第47期生の新生も学校再開後には、充実した思い出深い日々を送ってほしいと願っています。



正面左側の校名碑は、新校名を記念して平成3年・1991年に建立されました。中央区立日本橋中学校の伝統と文化の重みを象徴しています。

沿革史をみると、昭和37年・1962年、浜町中学校・有馬中学校が統合して、(旧)日本橋中学校(旧日本橋中学校は、現在の浜町区民館の場所・中央区日本橋浜町3-37-1)が開校しました。昭和49年・1974年4月、久松中学校・(旧)日本橋中学校・紅葉川中学校(中央区日本橋2丁目3-4・現日本橋プラザ)の3校が統合して、中央区立久松中学校だった地に中央区立第四中学校が開校しました。平成3年・1991年6月に中央区立第四中学校より現校名の日本橋中学校に変更され、新校名披露式典、校名碑除幕式が挙行されました。

校歌 作詞 高田敏子 作曲 岩河 三郎

隅田川の きらめく 流れ 流れ
光に映え 雲を写して
海に そそぐ
師の教え ゆたかに汲んで
健やかにのびる 若い心
この肩に この胸に
未来の「時」をになう力を
たくわえてゆこう

隅田川の きらめく 流れ 流れ
希望をのせ 夢を育てて
海に そそぐ
友と友 固く結ばれ
健やかに学ぶ 若い心
この肩に この胸に
未来の「時」をになう力を
たくわえてゆこう

師よ 友よ
ここに学ぶ日々 忘れることなく
いつまでも いつまでも
光 励まし わが学びや